

# 伝染病 臭いへの ゼロ 挑戦!



## 園内感染防止…

園内感染といえども感染症であるため、感染症成立の三大要因です。①感染源→②感染経路→③感受性体の条件が満たさなければ園内感染は起こりませんが、園内感染の感染源は極めて多様であり完全に防ぐ事は難しいと言われてしています。

そんな中、①感染源を抑圧することで園内感染がゼロに…とは言いませんが、ゼロに近づく施工をご提案させていただきます。



## 給食後のニオイ…

給食後の「臭い」が、いつまでも室内にこもるといふ事があると思います。それは近年の建物は密閉性が大変よくなり、冷暖房の効率がよくなって省エネルギーとなっています。

昔の日本家屋では、自然に1時間あたり3～4回換気されていましたが、近年のコンクリート造りだと1時間あたり0.5回しか空気が入れ替わらず、換気が悪くなっています。そのため、給食後の「臭い」もなかなか換気出来ずいつまでも部屋にこもってしまうのです。

そのいやな「臭い」がゼロに…とは言いませんが、ゼロに近づく施工をご提案させていただきます。



# 酸化チタンなら“安全”でゼロへ近付く!

酸化チタンは光（紫外線）を利用して有機物を分解する効果があります。ニオイの成分・菌類（有機物）を自然の力で分解します。酸化チタンは歯磨き粉や化粧品等にも使用され安全性は認められていますのでご安心ください。簡単に例えると植物の光合成と似た働きをします。

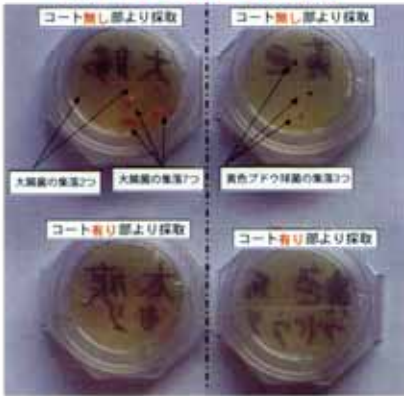




クリーンシャワーコーティング=銀系光触媒

# CSCでバイ菌の二次感染を防止

## 抗菌テストの結果



意外と知られていないのがトイレからの二次感染です。汚物等から繁殖し、便座・ドアノブ等から二次感染していきます。トイレを常に清潔にする事で菌を抑圧できますが、より効果を出すためにCSCコーティングをお奨め致します。



試験方法：黄色ブドウ球菌・大腸菌の抗菌テストをフードスタンプを使用し行った。

	大腸菌	黄色ブドウ球菌
未施工部より採取	3個	9個
施工部より採取	0個	0個

結果：コーティング処理・未処理を比較すると抗菌効果は見られる。トイレはほとんど光（紫外線）が当たらないので、この抗菌効果はほぼ銀イオンです。

注意：今回の施工部からは菌が発見されませんでした。使用頻度や清掃回数によっては発生する場合があります。

# 浮遊菌を抑える力

細菌類はほこりとともにカーペットなどの内部に潜りこみ、人や物が動くと空中に舞い上がり浮遊菌となります。飛び回り、走り回る事が多い園内では、この浮遊菌も多く発生している恐れがあります。

CSC（クリーンシャワーコーティング）を行う事で、まず発生源である床や壁のバイ菌を抑えるので、園児が飛び回り走り回っても浮遊菌が発生しにくい環境を作ることが出来ます。

CSC施工 浮遊菌0へ  
発生源を抑える

	一般生菌数	真菌数
施工前	45個	73個
施工後	18個	32個

試験方法：空中浮遊菌検査  
試験箇所：厨房

結果：コーティング処理・未処理を比較すると抗菌効果は見られる。浮遊菌数は約半分以下に減少した。

# シックハウスも解消!

近年話題となっているシックハウスの原因と言われているホルムアルデヒドは、0.08ppm以下が国の定める基準値となります。しかし環境に敏感な小さいお子様や年配の方は、基準値以下でもシックハウス症候群の症状が現れます。ここでもCSCが活躍します。

CSCを施工する事で、ホルムアルデヒドも分解致します。つまり、園児にとって快適な生活やお昼寝の時間を約束出来るのです。

# 安眠を約束



※ppmとは…空気中の濃度で1ppmは、1ℓの水の中に1mgの物質が溶けている状態です。

臭いバイ菌を退治!

銀イオンの威力です!